

一心太助の天秤棒

～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～

越谷市議員 白川 ひでつぐ

シリーズ/NO 156号



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来6期22年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝の駅立ちは、通算4400日を超えました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前の様々な市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

YouTubeの白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は294名を超えました。引き続き配信を継続していますので、これまでのご協力に感謝し、更にご登録をお願いします。

チャンネル登録



民間施設の敷地内のコンクリートがはがれている。歩行者がつまづいてしまう。



7月初旬にせんげん台駅東口での朝の駅立ちの際、旧知の高齢女性からせんげん台駅前の広場に通じる商業ビルと歩道(公道)が隣接しているが、施設内のコンクリートがデコボコとなっており、歩行者がつまづきそうな

ので、舗装をしてもらえないか、との陳情を受けた。すぐに市役所の担当である道路維持課長に事情を話して善処をお願いした。

地図を出して場所の確認をしてもらったが、やはり民間商業ビルの敷地であるため、直接市が補修をすることが出来ない、との返事。

しかしその後、直ぐにこのビルの管理会社に対して市から改善をお願いしたと報告を受けた。

すばやい対応に感謝しているが、管理会社の対応をいまのところ待っている。

(7月8日・火曜日)

猛暑の中、中学生から冷ひやネックタオルの差し入れが。体はクールダウン、心はあたたかに

今朝の駅立ちは、北越谷駅西口で午前7時から開始した。駅に到着して街宣用具の搬出とセッティングをして、駅周辺の清掃を終えて市政レポートの配布を始めた。

気温は早朝と言うのに、どんどん上昇していく。蒸し暑さと道路からの反射熱と直接の太陽光で息苦しくなるほど。

それでも、大きなスピーカーを通して6月越谷市議会の報告を続けた。

午前7時30分過ぎ馴染みのコンビニで働いている高齢男性が、何時もの様に1000円をカンパ箱に。更にキンキンに凍ったペットボトルを差し入れて頂いた。中の飲料水を短時間に凍らせるコツも教えて頂いた。

午前8時前に、スポーツ着の高校生か中学生か判断がつかない男子生徒が近寄って来て、市販されている冷ひやネックタオルを差し出してくれた。そこで中学生ですか、高校生ですかと尋ねたら中学校2年生です、と返事。そう大きいね。どこの中学校と聞いたら、浦和学園2年生(浦和実業学園中学校?)との返事。お名前を教えてください、との話に、〇〇です、と。何故差し入れをしてくれたの、との質問に、がんばっているから、と答えてもらった。子供たちから激励されることは時々あるのだが、やはり嬉しさがこみ上げてくる。暑さにも負けない体力消耗にも負けない、と自然と湧き上がって来た。この日午後6時30分からは、第53回白川ひでつぐ駅前市民対話集会を新越谷駅東口で開催。夕方になっても相変わらず暑さが残っていたが、朝の中学生の事が頭に浮かび、マイクの声に力がこもった。(7月25日・金曜日)

冷感グッズの使用くらいでは、この猛暑は防げない



今朝の駅立ちは、越谷駅西口で、午前7時前からスタートした。午前6時40分頃に駅に到着して、妻が運転

してきた自家用車から、街宣用具を搬出した後設置したが、駅近くの北越谷駅前さくら広場で毎日開催されているラジオ体操に参加している市民の風景も毎度見慣れたものだ。駅周辺の吸い殻やごみの清掃作業をしていると、おはようございます、ご苦労様と声を掛けて頂くこともあるし、頑張ってください、との激励の声も。

だだ連日の猛暑は容赦なく、2時間を超える駅前活動に大きく影響をしている。

そのため、昨年から空調冷風服半袖ファン付きベストを着用している。(炎天下で作業をする市民が最近よく身に着けておられる)

更に首にクールリングを自宅に出るときに装着して対応していたが、その効果が30分位したらなくなってしまうので、2時間の効果をうたっているクールリング(3980円)を購入してこの日最初に装着し、やっと涼しくなると期待していた。ところが2時間どころかせいぜい1時間15分程しか効果がない。

ただ、勿論一定の効果があるし他に方法が見つからないため使用をこの夏続けるが、本当にこの暑さには苦しめられている。

(7月29日・火曜日)

日差しをよけて、活動すればいいのに、と助言が

今朝の駅立ちは、せんげん台駅東口で実施したので、何時ものように午前4時過ぎには起床して身支度を整えて、午前5時前に自宅を出発して、駅に10分で到着した。街宣用具の搬出、設置のあと、駅周辺の清掃作業を終えて市政レ

ポートの配布を開始した。この時間帯では太陽は低く光に照りだされることがないので、順調に配布を続けて行く。しかし、午前6時30分頃太陽光が直接体を襲ってくる。太陽の日差しは容赦なくガラガラして完全に体全体を覆ってくる。日影にはならないが、20数年間の定位置での市政レポートの配布であるため、市民はこの位置での受け取りに慣れているため、容易に移動は出来ない。

それを見越してか旧知の市民から、もっと日差しをよけて配布したら、と心配の助言を頂いた。はい、しかしこの場所での配布が定着していますので、もう少しがんばります、と応じた。

ただ、あまりの暑さに日影になっている場所に移動して配布を続けたが、そのスペースも少しずつ移動するため、だんだん定位置から遠ざかって行く。案の定何時も受け取って頂く市民の方が私と気づかずにエスカレーターに向かっていかれた。そのため定位置に戻ろうとしたが、午前8時30分までまだ1時間30分もあるため、体力温存を優先してわずかな影のスペースで最後まで実施しようとしたが、それもしばらくすると一切日影がなくなり、炎天下の中最後まで配布を続けた。終了して迎えに来た自家用車に街宣用具を搬入して帰宅したが、真っ先に部屋のクーラーのスイッチをいれて、シャワーを浴びた。

その後、1時間余り温度が下がった自室で妻が入れてくれた暖かいブラックコーヒーを口にしてやっと落ち着いた。こんな日々が何時まで続くのだろうか。(7月30日・水曜日)

第1回議員と語るコンセプトバー開催



超党派の議員と市民が気兼ねなくお酒を交わしなら何でも話し合う場を提供しようと、市内大里のコミュニティスペース「ガヤチル」で、言い出しっぺの私がマスターになりカクテル用のシェークを振りハイボールも。越谷市長や市議を始め県内の市議と市民、合計15人が参加した。終了予定時間を超えて午後11時まで非日常の空間を創出した。(8月1日・金曜日)